

上尾市水道事業では、大規模地震や風水害への備えとして、災害対応に特化した「実動班」を令和2年3月に編成いたしました。

「実動班」では、大規模災害を想定した各種の講習会や訓練を重ねることで、迅速な災害対応ができる職員を育成しています。

今回の活動報告では、令和5年10月、11月に行った訓練内容について報告いたします。

## 認定試験（HIVPの接合）の実施

給水装置工事事業者への的確な指示を行うこと及び、緊急時には自ら応急復旧を行うことも想定し、令和5年9月14日（木）、21日（木）にHIVP管の接合訓練を実施しました。さらに、訓練の成果を図るため、令和5年10月2日（月）、5日（木）、12日（木）に**認定試験（HIVPの接合）**を実施しました。訓練内容に応じて認定試験を実施することで、作業工程を振り返り、実動班員の更なる技術力の定着・向上が見込め、水道に関するエキスパートの育成を目指しております。

試験開始  
全体説明



01

【1. 寸法出し】



02

【2. 切断】



03

【3. 接着剤の塗布】



04

【4. 接着剤の塗布後の接合】



05

令和5年10月26日（木）、**管洗浄（座学）ステージ2**を実施いたしました。

今回は、漏水事故を想定した「管洗浄」の方法についてのシミュレーションを、11名の実動班員が3班に分かれグループディスカッションを実施しました。

各班、図面から読み取れる“事実”を基に“想定”し、適切な管洗浄を実施するための作業手順を検討し、結果を発表することで、“こんな方法もあるんだ”、“この考え方は思いつかなかった”等、情報共有することが、実動班員の知識を増やし、災害時の判断力を養います。

【グループディスカッション状況】

災害時、迅速な判断が必要とされることを想定し、あらかじめ設定された時間内でディスカッションを行います

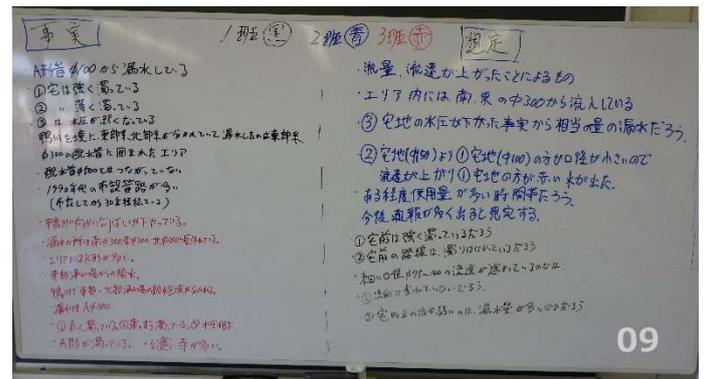


【各班検討中！】

- ・図面から読み取れる“事実”を基に“想定”し管洗浄作業手順を検討しています

【各班発表】

“事実”をきちんと把握し、正しい“想定”をすることが、適切な検討へつな갑니다



令和5年11月9日（木）、16日（木）に、**管洗浄（実技）訓練**を実施いたしました。

交差点内での漏水事故を想定し、仕切弁の操作方法及び、管洗浄方法を習得するため、指揮者の指示に従い、作業を行うことができるか訓練を実施いたしました。引き続き、令和5年12月も管洗浄（実技）訓練を行い、令和6年1月には**認定試験（管洗浄実技）**を予定しております。

訓練開始  
全体説明



10



【指揮者による指示】

- ・漏水事故を想定した、概要の説明
- ・仕切弁操作員への指示
- ・交通誘導班への指示

11

【仕切弁操作員】



12

【交通誘導班】



13

## 管洗浄（実技）訓練の様子

※配置された担当職員が

①仕切弁蓋開け、②仕切弁開閉操作、③仕切弁蓋閉め  
まで責任をもって行います



【仕切弁蓋開閉状況】

仕切弁蓋開閉時は、周囲の状況を確認し、車両、歩行者に十分注意を払います

【仕切弁開閉操作状況】  
仕切弁開閉操作は、  
音を確認しながら行います



【水質確認状況】

仕切弁操作を行ったことで、  
水質に影響が出ていないか、  
目視確認を行います。